

開催趣意

「獣医師」というと、犬や猫などの家庭動物、牛や馬、豚などの産業動物のお医者さんというイメージが一般的です。しかし獣医師は動物の疾病の予防、診断、治療等の診療活動だけではなく、実に幅広い分野において様々な職務に従事しています。たとえば、家畜防疫分野の獣医師は、動物の輸出入検疫をはじめ、家畜の伝染性疾病の予防、診断、調査、研究に、また、公衆衛生分野の獣医師は、食肉・鶏卵や乳製品に代表される畜産物を含む食品の安全性の確保や人と動物の共通感染症の予防対策に、バイオメディカル分野の獣医師は医薬品の研究・開発等に従事しています。その他にも、大学の教官は、獣医学研究や獣医学課程に学ぶ学生の教育に、そして動物愛護・福祉分野の仕事、さらには動物園動物の診療や野生動物の保護・管理等の仕事など、獣医師の職務範囲の全てが私たちの安全で健康な生活に直結しています。

最近では、牛海綿状脳症（BSE）や鳥インフルエンザなどの脅威から国民の健康を守る最前線で活躍し、国産食肉・鶏卵等の安全性への信頼回復等に大きく貢献するなど、動物の生命・健康に関わる診療活動のみならず、国民の食の安全確保を通じて、国民の意識が高まっている食糧自給率の向上や、一昨年海外からの帰国者に発生した狂犬病に代表される人と動物の共通感染症対策の他、海外からの動物の感染症の侵入防止などについても重要な責務を担って社会に貢献しています。また、動物愛護・福祉や野生動物対策をはじめとする環境保全対策を推進する上でも獣医師に対する期待が一層高まってきています。

日本獣医師会は、日夜努力を続ける獣医師の仕事の全体像を紹介し、獣医師とその職務への社会的理解を深めるとともに、獣医師と市民との間にさらなる良好な関係を築くため、昨年10月、2007 動物感謝デー in Tokyo “World Veterinary Day”を開催し、幅広い年齢層から多くの参加者に来場いただき、動物とのふれあい等の様々な行事に参加していただきました。

本年においても、日本獣医師会を中心として、各地方獣医師会、獣医学系大学、獣医療関係団体、畜産関連団体、動物愛護団体、動物医薬品業界及びペット関連業界等、より多くの動物関連団体、企業にご協力いただき、一層意義ある行事として、「2008 動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day”」を開催することとしています。

つきましては、その開催にあたりまして、関係各位のご理解をいただき、開催に向けてのご協力と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 5 月
社団法人 日本獣医師会
会 長 山 根 義 久